

平成25年度
市勢功労表彰

本年度の市勢功労表彰被表彰者が決まりました。それぞれの分野で市勢の発展に貢献された皆さんは、1月6日に行われる、市民新年交賀会の席上で表彰状が贈られます。おめでとうございます。

地方自治功労



佐藤 祐宏さん(72)
＝衣川区瀬原＝

平成8年に旧衣川村の瀬原行政区長に就任。10年から旧衣川村行政区長協議会長、18年から市衣川区行政区長協議会長などを歴任されました。長年にわたり行政と地域住民の橋渡し役として尽力され、また行政区長制度の発展に大きく貢献されました。

教育功労



三田 信一さん(71)
＝前沢区字山下＝

平成21年に市教育委員会委員に就任し、24年から市教育委員会委員長を務められました。教育目標に「新しい奥州を担う人づくり」を掲げ、学校・地域・行政が連携した体制づくりに尽力。教育行政の発展に大きく貢献されました。

民生功労



山田 静子さん(70)
＝水沢区西上野町＝

昭和60年に県消費生活相談員に就任。平成9年からは旧水沢市主任消費生活相談員、18年から市主任消費生活相談員を務められました。地域住民の消費生活相談などに親身に対応し、多重債務などの解決に尽力。消費者行政の基礎づくりに貢献されました。

民生功労



鈴木 久男さん(81)
＝前沢区生母字斎田＝

平成5年に生母地区公衆衛生組合理事に就任。15年から旧前沢町公衆衛生組合連合会長および県公衆衛生組合連合会水沢支部長、23年から市公衆衛生組合連合会長を務められ、組合活動のリーダーとして、ごみの適正排出やリサイクルの推進に貢献されました。

産業功労



小野 吉助さん(83)
＝水沢区秋葉町＝

昭和50年から日高火防祭立町組役員に就任し、60年から日高神社火防祭保存会役員、平成18年から同会長を務められました。屋台の安全運行と伝統継承に努められ、記念誌の発行や県外公演を実施するなど、祭りの普及・保存・育成に大きく貢献されました。

消防功労



菊池 均さん(65)
＝江刺区梁川字鴨谷＝

昭和50年に旧江刺市消防団に入団し、平成17年から同副団長、18年から市江刺区消防団副団長、消防団統合後の22年から市消防団副団長を務められました。消防業務の重要性を認識し、緊急時の消防活動や火災予防など消防行政の推進に尽力されました。

消防功労



三浦 一美さん(63)
＝前沢区生母字笹森＝

昭和52年に旧前沢町消防団に入団し、消防団統合後の平成23年から市消防団副団長を務められました。消防業務の重要性を認識し、緊急時の消防活動や火災予防など消防行政の推進に尽力されました。

消防功労



谷本 幹典さん(54)
＝胆沢区若柳字明神下＝

昭和50年に旧胆沢町消防団に入団し、消防団統合後の平成23年から市消防団副団長を務められました。消防業務の重要性を認識し、緊急時の消防活動や火災予防など消防行政の推進に尽力されました。

平成26年 新年交賀会

26年1月に行われる、市民新年交賀会と各区新年交賀会の日程と会場は次のとおりです。
市勢功労表彰状授与式は、1月6日にプラザイン水沢で開催する市民新年交賀会の席上で行います。

■問い合わせ＝本庁総務課行政係（内線 434）

	日時	場所	会費	会券販売場所	販売期限
市	1月6日(日) 午後3時～	プラザイン水沢	3,000円	市役所（総務課・水沢総合支所事務局）、各総合支所総務企画課、水沢区内各地区センター	12月24日(日)
江刺区	1月8日(火) 午後3時～	ホテルニュー江刺 新館イース	3,000円	江刺総合支所総務企画課、江刺区内各地区センター	12月16日(月)
前沢区	1月7日(日) 午後3時～	サンフレックス	4,000円	前沢総合支所総務企画課、前沢商工会、JA岩手ふるさと前沢支店、前沢区内各地区センター	12月20日(金)
胆沢区	1月9日(火) 午後3時～	焼石クアパーク ひめかゆ	3,000円	胆沢総合支所総務企画課、各行政区長、胆沢区内各地区センター	12月20日(金)
衣川区	1月7日(日) 午後1時～	国民宿舎サンホテル衣川荘	3,000円	衣川総合支所総務企画課、サンホテル衣川荘、各行政区長、衣川区内各地区センター	12月24日(日)



妻の八千代さんとともに笑顔の守男さん

市は、11月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。
皆川守男さん(81)水沢区星ガ丘町Ⅱは一関市藤沢町に生まれ、26歳で八千代さん(97)と結婚。2女をもうけ、孫2人に恵まれました。小学校教諭を務めた後、35歳から県立水沢高校で書道科の教諭として24年間勤務しました。
プライベートでも書道に深く関わる守男さん。「皆川祥雲」の雅号で、数多くの賞を受賞し、個展も開催しました。長寿の秘訣は「苦しまず伸び

祝 百歳おめでとう



お祝いの品を受け取るなみせさん

伸びと生きること」と力強く語っていました。妻の八千代さんは「私ももうすぐ百歳。頑張るよ」と守男さんを祝福していました。

小野寺なみせさん(81)江刺区玉里字青篠Ⅱは一関市大東町に生まれ、昭和10年ころ故郷耕郎さんと結婚。一人息子に孫2人、ひ孫2人に恵まれました。主婦として家事を一手に引き受け、家庭を守ってきました。
若い時から華道や茶道などを習い、近所の人に教えていたそうです。息子の哲也さん



「ありがとう」と感謝の言葉を述べるミサヲさん

は、「習い事をするために遠くまで歩いて通ったことで丈夫になったのかな」と長寿の秘訣を話しています。
阿部ミサヲさん(81)胆沢区若柳字新中Ⅱは金ヶ崎町永沢に生まれ、21歳で故郷勝見さんと結婚。3男3女をもうけ、孫4人、ひ孫8人に恵まれました。大工だった勝見さんを支えながら、日中は農作業や近所の手伝い、夜は裁縫をして子どもたちを育て上げました。
食糧難の時、近所の人に食べ物を分けてあげるなど、心が広がったというミサヲさん。昔から歌が大好きで、会場にソーラン節が流れると、一緒に口ずさんでいました。